

九州支部

でPR以上の効果が得られ(CR 1例), その有用性が示唆された。

24. 小細胞肺癌に対するrhG-CSF併用によるCBDCA+VP-16のDose Escalation Study

熊本市民病院呼吸器科(西日本肺癌化学療法研究会)

田中不二穂, 志摩 清

最大耐容量(MTD), 副作用, 抗腫瘍効果を検討した。Dose-Limiting Factorは血小板減少で, 70歳未満, 70歳以上のCBDCAのMTDは各々700mg/m², 550mg/m²であった。全体の奏効率は79%で小細胞肺癌に有用な治療と考えられた。

25. CDDPを含む肺癌化学療法に対するGranisetronの臨床効果と安全性の検討

熊本大第2内科関連施設肺癌研究会 浜田隆博, 桑原哲郎
井田光雄, 早坂真一, 吉永 健

河野正一郎, 牛島正人

松村克巳, 上田恵一, 野村裕常
中井良一, 有富 聰
西山敬一郎, 宮島英俊
絹脇悦生, 高月 清

CDDPを80mg / m²以上単回投与を受けた肺癌患者を対象に, CDDPに対するGranisetronの臨床効果, 特に効果の持続時間と安全性を検討し報告した。

26. 癌性胸膜炎に対するエトボシドとOK-432の胸腔内投与の比較試験の検討

久留米大第1内科 志賀裕美子
力丸 徹, 田中泰之
市川洋一郎, 大泉耕太郎

目的: エトボシド胸腔内投与の有用性についてOK-432胸腔内投与と比較検討する。対象: 細胞診にて確認された癌性胸膜炎患者34名。方法: エトボシド100mg/m²またはOK-432, 10单

位/bodyの胸腔内投与。成績: エトボシド群MST166日, 奏効率44%. OK-432群MST159日奏効率39%. 結論: エトボシド胸腔内投与はOK-432胸腔内投与と比べ, 有効性の差を証明できなかった。しかし, 副作用は軽微であった。

27. 癌性胸膜炎の治療経験

大分県立病院胸部外科

山岡憲夫, 内山貴堯, 岡 忠之
村岡昌司, 佐野 功

初回入院時に癌性胸膜炎を呈した43例(全症例の5.3%)につき検討した。内科的治療としては胸腔ドレーン下に薬剤(特にOK432+ADM)投与が最も予後良好であった。積極的な外科療法の予後は不良で(全胸膜肺摘除5例は全例2年以内癌死), その手術意義は少ないと思われた。

28. 好中球減少時のrG-CSFの薬物動態について

長崎肺研・長崎大第2内科

早田 宏, 渡辺正実, 福田正明
木下明敏, 坂本 晃, 藤野 了
渡辺講一, 伊藤直美, 荒木 潤
神田哲郎, 中野正心, 原 耕平

肺癌MVP療法でrG-CSF投与時期の異なる症例の血中G-CSF濃度と好中球数との関連を検討した。G-CSF濃度は各群とも好中球減少時に最高値を示し, 好中球回復とともに低下した。rG-CSFの投与中と投与前に分けて血中G-CSF濃度と好中球数を比べると, rG-CSF投与中の血中G-CSF濃度と好中球数の間には強い逆相関(相関係数-0.88)が認められ, rG-CSF投与前のG-CSF濃度より考えた場合, この逆相関への内因性G-CSFの寄与は少なかった。

29. CPT-11誘発下痢実験マウスの検討

長崎大第2内科

渡辺正実, 早田 宏, 高谷 洋
広瀬清人, 岡三喜男, 原 耕平
ICRマウスを用い, CPT-11の消化管障害をCDDPと対比して病理学的に検討すると共に, 消化管ホルモンとの関連を検討した。CPT-11及びCDDPの消化管障害は, 回腸に最も強く, 次いで空腸, 盲腸の順で, 結腸の障害は殆ど認めなかった。CPT-11とCDDPの消化管障害を比べると, CPT-11では空腸の絨毛密度は保たれており, 盲腸の粘液細胞の増加が認められた。今回の実験系ではCPT-11及びCDDPの消化管障害とセロトニン, VIPとの関連は認めなかつた。

30. グルタチオン誘導体による肺癌細胞のアドリアマイシン感受性増強作用について

九州大胸部疾患研

松木裕曉, 國武律子, 中西洋一
阿部正義, 原 信之

我々は, グルタチオンSトランスフェラーゼ(GST)活性とADR感受性が相関がすることを報告してきた。ある種のGSH誘導体(GSH-D)はGST活性を阻害することが知られている。そこで, 数種類のGSH-Dを用いて, 肺腺癌細胞株PC-9の, ADR感受性に対する影響を検討したところ, Sヘキシリグルタチオン(SHG)等幾つかのGSH-DはADR感受性を高め, かつ, PC-9細胞由来のGST活性を抑制した。即ち, GST-DによるADR感受性の亢進は, 癌細胞由来のGST活性の抑制によるものと思われた。

31. 化学療法が著効を示した肺癌原発悪性リンパ腫の1例

済生会唐津病院外科 川崎勝己
守永和正